



# 明和病院だより



2016年5月号

## (1) 新任医師のご紹介 (平成28年5月1日付)



### ★ 小児科 <sup>たちかわ</sup>立川 友博(医員)

5月から小児科で勤務させていただくことになりました立川友博です。昨年度までは兵庫医科大学病院、ささやま医療センターで勤務していました。

こどもたちの笑顔のために尽力していきますので、よろしくお願いいたします。

・専門：小児科一般

### ★ 耳鼻科 <sup>わたなべ</sup>渡部 舞子

5月から耳鼻咽喉科で勤務させていただくこととなりました渡部舞子と申します。地域の皆様のお役に立てるよう全力で努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

・専門：耳鼻咽喉科一般

### ★ 明和キャンサークリニック 放射線治療科 <sup>かみの けいじ</sup>上野 敬司(医長)

5月からキャンサークリニックで勤務させて頂くことになった上野敬司と申します。この20年間CT、MRIによるレントゲン診断と一般内科として老人医療を主に勤務してきました。今後は放射線治療で西宮の医療に貢献したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

・専門：放射線診断、内科(脳卒中、糖尿病、喘息・慢性閉塞性肺疾患)

## (2) 医師から皆様へ《 口腔から全身へ 》

口は体の入口です。その口の中には300種類以上、数千億というおびただしい数の細菌が生息しており、その密度は大腸とほぼ同じと言われています。健康なときはこれらの常在細菌(善玉と悪玉の混合)たちが縄張りを作って、外から侵入してくる病原菌やウイルスを繁殖させないように入口でコントロールしているのですが、中高齢者の大多数は歯周病を抱えており、超悪玉の歯周病菌が縄張りを作ってしまっているため、本来の防御システムが常に崩れているケースが多いのです。

多くの悪玉細菌は「バイオフィーム」という接着性のある膜を作って歯や舌に付着し、その中に閉じこもることで身を守っています。このフィルムはあらゆる薬を跳ね除けてしまうため内部の細菌には効きません。うがい薬で殺菌で



きるのは唾液中に遊離した一部の細菌だけなのです。

バイオフィーム内の細菌は、歯茎の細胞に侵入して破壊(歯周病)したり、血管の中に入って全身を周回(菌血症)したり、肺へ移動して肺炎(誤嚥性肺炎)を起こしたり、糖尿病を悪化させたり・・・と好き勝手な行動をとります。また特定の細菌が大腸がんの起点になる可能性もあることが報告されています。

特にこれから全身麻酔で手術を受けられる患者様や、抵抗力が落ちた高齢の患者様にとって、悪玉口腔細菌の勝手な行動は生命に関わる場合があります。現在日本を含む先進国の多くの病院では、大きな手術の前後には口腔内を清潔にする専門的な口腔ケア＝「周術期口腔管理」を実施しています。筆者の研究でも、手術前後の口腔ケアにより術後肺炎の発生率が低下することや、心血管系手術後の炎症が軽減することが統計的に示されています。



口腔ケアでバイオフィームを破壊して内部の細菌をやっつける方法は「ブラッシング」つまり歯みがきや舌みがきです。特に全身麻酔では気道確保のチューブを口から気管まで通しますので、舌の細菌を押し込んでしまわないように事前の舌清掃が大切です。また術後数日間絶食になる

場合には、唾液が出ないことで口腔細菌は10～100倍に増えますので、その期間の口腔ケアが大切なのです。

当院では4時間以上の全身麻酔手術を受けられる患者様への術前後の専門的口腔ケアを推進しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

歯科口腔外科部長 末松 基生

## (3) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題：糖尿病とその合併症について
- ・講 師：総合診療科 医長 高屋 豊
- ・日 時：5月25日(水) 14:30～16:00
- ・場 所：学文公民館(Tel 41-6050) ※無料(参加自由)



## (4) 「心のうたコンサート」のお知らせ

今月は「心のうたコンサート」を開催します。心の片隅に懐かしい思い出とともに眠っている歌を、心をこめてお届けします。

- ・日 時：5月27日(金) 16:30～17:30
- ・場 所：薬局前
- ・内 容：日本のうた、童謡、唱歌



(編集発行人 事務部長 沖田 明弘)